

六甲高山植物園 雨に濡れると透ける花 「サンカヨウ」が開花しました！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:寺西公彦)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、「サンカヨウ」が見頃を迎えました。

サンカヨウの花は白色ですが、朝露や雨に濡れると水分を吸った花が透明になることが知られています。ガラス細工のようなその見た目は、神秘的で見る人の心を惹きつけます。見た目の美しさから SNS を中心に話題にもなっており、お客様からの問い合わせも年々増加しております。

◆サンカヨウ(メギ科) *Diphylleia grayi*



落葉樹林や針葉樹林の林床に生える多年草です。芽を出してから花が咲くまでの期間は短く、花も5～7日程度で散ってしまいます。花後にできる実は粉をふいたような藍色で、食べることができます。

中国語で「荷葉(カヨウ)」は蓮の葉を意味しており、特徴的な葉が蓮のそれに似ていることから「山荷葉」と和名がつけられました。水分を含むと花の色が透明になることが知られていますが、色が変化する過程には時間を要し花期も短いため、その姿は非常に希少です。当園に咲くサンカヨウは現在見頃で、4月下旬ごろまでお楽しみいただける見込みです。



◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL: 078-891-1247 / FAX: 078-891-0137

住所: 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】～11月23日(木・祝)※休園日あり。HPをご確認ください。【開園時間】10:00～17:00

【入園料】大人(中学生以上)900円／小人(4歳～小学生)450円【駐車場】1,000円、GW期間:2,000円

※荒天等により、営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。